

&lt;第73回調査&gt;

2015年06月29日

**【本調査の目的】**

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施していましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

**【調査実施期間】**

2015年06月16日(火)13:00~2015年06月23日(火)13:00

※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

**【調査対象】**

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

**【調査方法】**

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。

今回の有効回答数は898件。

※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

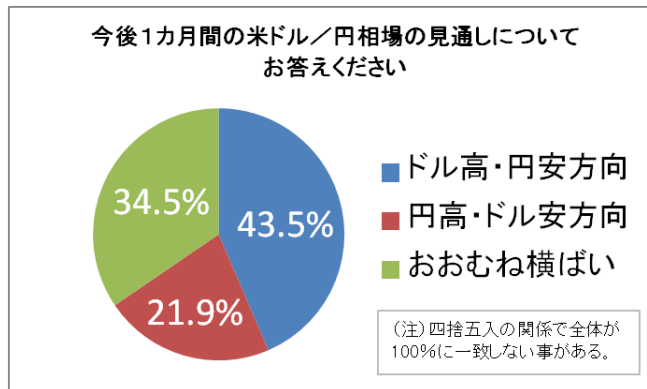
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

## 【第73回調査結果略報：ユーロの先安観が強い】

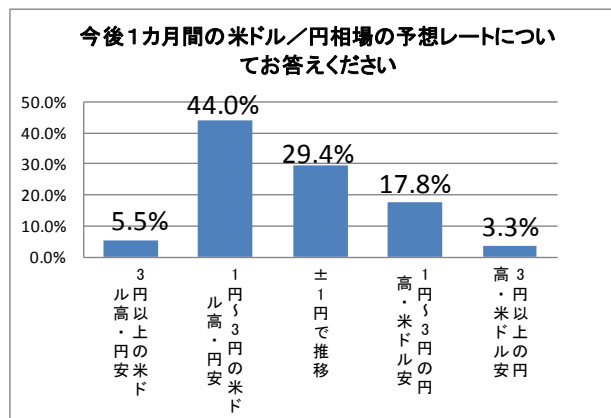
### 問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「ドル高・円安方向」と答えた割合が43.5%であったのに対し「円高・ドル安方向」と答えた割合は21.9%であった。この結果「米ドル/円予想DI」は+21.6%ポイントとなり、前月の+8.6%ポイントから大きく上昇した。調査期間中の米ドル/円相場は、123円台半ばから124.391円まで上昇した後、122.473円まで一時失速するも、この水準では底堅さを見せ、徐々に切り返した。3月後半から5月半ばにかけて、118円台～120円台でのみみ合いが続いていたが、5月後半に大幅に上昇し、6月5日には125.853円の年初来高値を付けた。その後はやや上げ幅を縮めているが、122円台で底堅さを保っている様子を見て、ドル強気派が戻ってきたと考えられる。※過去の米ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。



### 問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「1円～3円の米ドル高・円安」が44.0%と最も多く、「±1円で推移」と答えた割合が29.4%、「1円～3円の円高・米ドル安」が17.8%と続いた。「3円以上の米ドル高・円安」は5.5%、「3円以上の円高・ドル安」は3.3%であった。ヒストグラムの形状は、半分近くの回答が「±1円で推移」に集まった前回から米ドル高・円安方向に傾く形となり、問1と整合性が取れている。ただ、6月中旬からの123円台を中心とするみみ合いが長期化するようだと、足元の米ドル高・円安期待が減退し、次回調査時には前回調査時のように「±1円で推移」が最も増えている可能性もある。動向に注目したい。

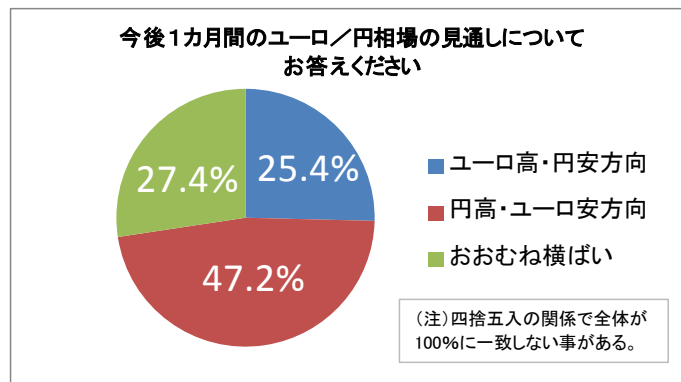


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

### 問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

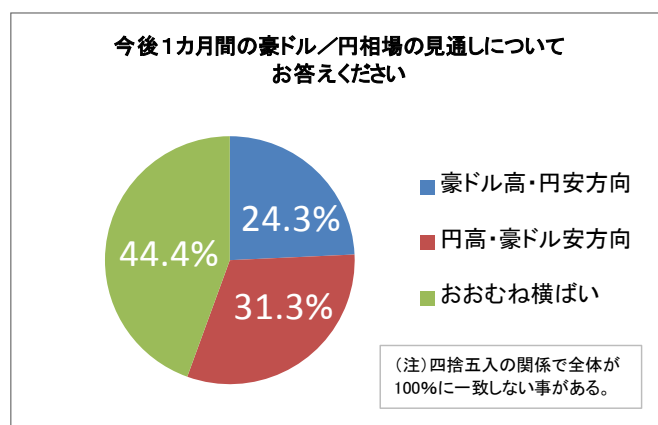
「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が25.4%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合が47.2%であった。この結果、**ユーロ/円予想DIは-21.8%ポイント**と、前月(-9.4%ポイント)からマイナス幅が大きく拡大した。調査期間中のユーロ/円相場は、一時138.253円まで下落したものの、その後は反発。ただ140.60円台まで上昇すると、頭の重い状態となった。どちらかと言えば堅調さを見せた調査期間中だったが、ギリシャ支援問題の先行き不透明感が強い状態が続いており、FX投資家間ではユーロの先安観が強いようだ。※過去のユーロ円予想DIの推移はP7-8に掲載。



### 問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が24.3%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は31.3%であった。この結果「**豪ドル/円予想DIは-7.0%ポイント**」と、6カ月ぶりのプラスDIとなった前回から一転、再びマイナスDIとなった。ただし、最も回答割合が大きいのは「おおむね横ばい(44.4%)」である。調査期間中の豪ドル/円は、95.00円前後から96.30円台までのレンジ内で推移し、大きな方向感が出ていない。米ドルが主導する場面が多く、クロス円には方向感が出にくい中で、豪ドル/円についてはFX投資家もバイアスを傾けにくくなっているようだ。

※過去の豪ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。

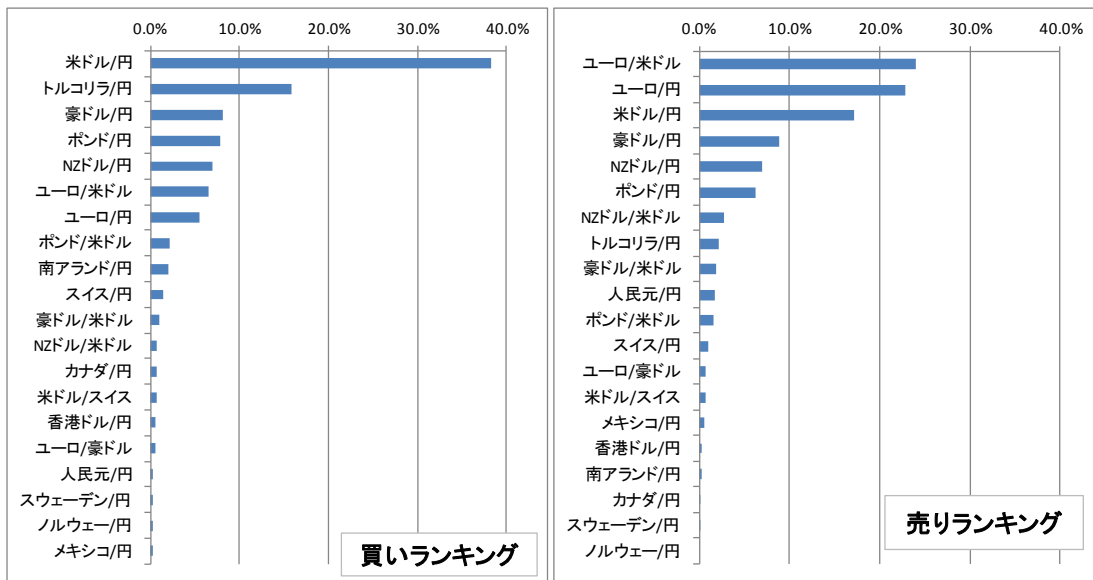


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

**問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください**

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が38.3%の回答割合を集めて第1位をキープした。以下、2位トルコリラ/円(15.8%)、3位豪ドル/円(8.1%)、4位ポンド/円(7.8%)、5位NZドル/円(7.0%)、と続いた。一方、「売り」で注目の通貨ペアは、1位ユーロ/米ドル(24.1%)、2位ユーロ/円(22.8%)、3位米ドル/円(17.1%)、4位豪ドル/円(8.9%)、5位NZドル/円(6.9%)となった。「買い」で注目の通貨ペアについては、米ドル/円が33回連続で1位。また、トルコリラ/円、豪ドル/円の順位不動で、トップ3の人気は維持された。ただ、前回4位だったユーロ/米ドルは6位まで順位を落とした。また、「売り」で注目の通貨ペアは10カ月連続でユーロ/米ドルが1位。また、前回3位だったユーロ/円が2位に浮上しており、ユーロへの信認がさらに低下している様子が示された。なお、今回は買いでも売りでも、注目通貨ペア5位にNZドル/円がつけた。買いに関しては、NZドル/円の順位こそ上がった(前回6位)ものの、回答割合はほぼ横ばい(前回:6.7%)した事が原因であり、特に注目度が上がったわけではないが、売りに関しては回答割合が上昇(前回:5.4%)している。NZ中銀(RBNZ)が6月に利下げを行い、さらに今後の追加利下げの可能性も匂わせた事で、FX投資家の中でもNZドルの先安感が広がっているようだ。



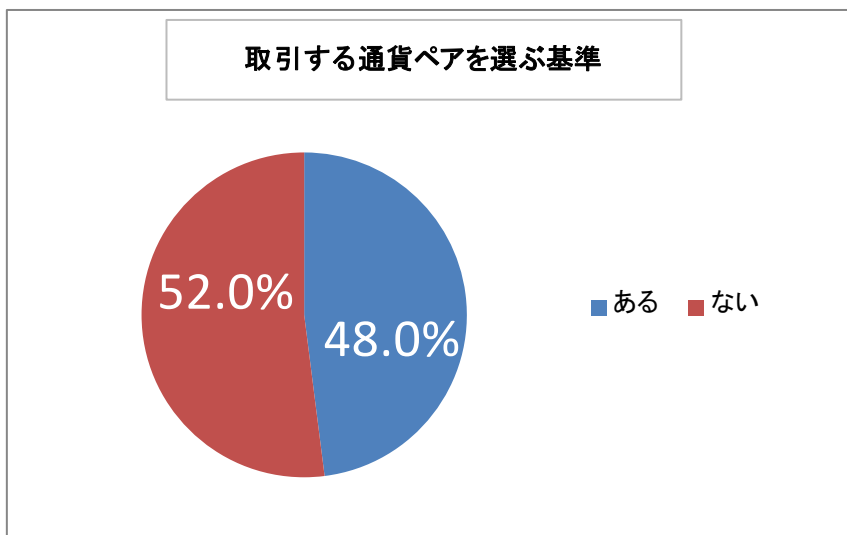
※これまで毎回更新してまいりました【FX取引の際の取引保証金の額】【現在の[実効レバレッジ]で最も近いもの】【一度に注文する注文数量で最も近いもの】に関しましては、書籍「外為白書」(10月頃刊行)へ掲載予定です。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

**問6: 取引する通貨ペアを選ぶ基準はありますか。  
ある場合は、具体的な基準をお書きください。**

今回の特別質問項目として、取引する通貨ペアを選ぶ基準の有無を尋ねたところ「ない」との回答が52.0%と、わずかながら過半数を超えた。「ない」と答えたFX投資家については「なるべく慣れた通貨を」とのコメントが見られた。一方、「ある」と答えた層はその基準について、「スプレッドが狭いもの」、「スワップ金利が高いもの」、「ある一定のトレンドが出ているもの」、「ボラティリティが出ているもの」などを主に挙げていた。短期的に売買する事の多いFX投資家にとって、スプレッドの狭さやボラティリティが出ている事は重要となる。一方、一定程度の期間にわたってポジションを保有するFX投資家としては、スワップ金利やトレンドが出ている通貨ペアが選考の判断基準となるようだ。

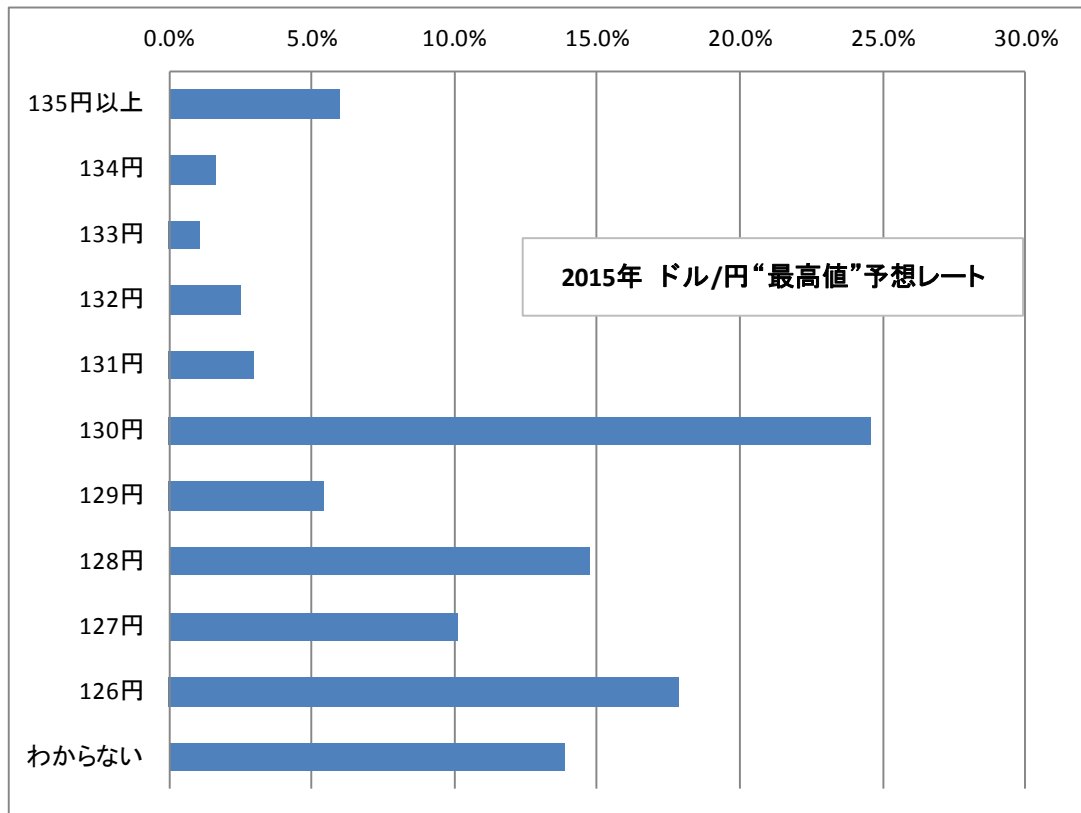


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問7: 2015年を通して、ドル/円“最高値”の予想レートをお答えください(ひとつだけ)  
また、下のコメント欄に、その理由をお書きください。

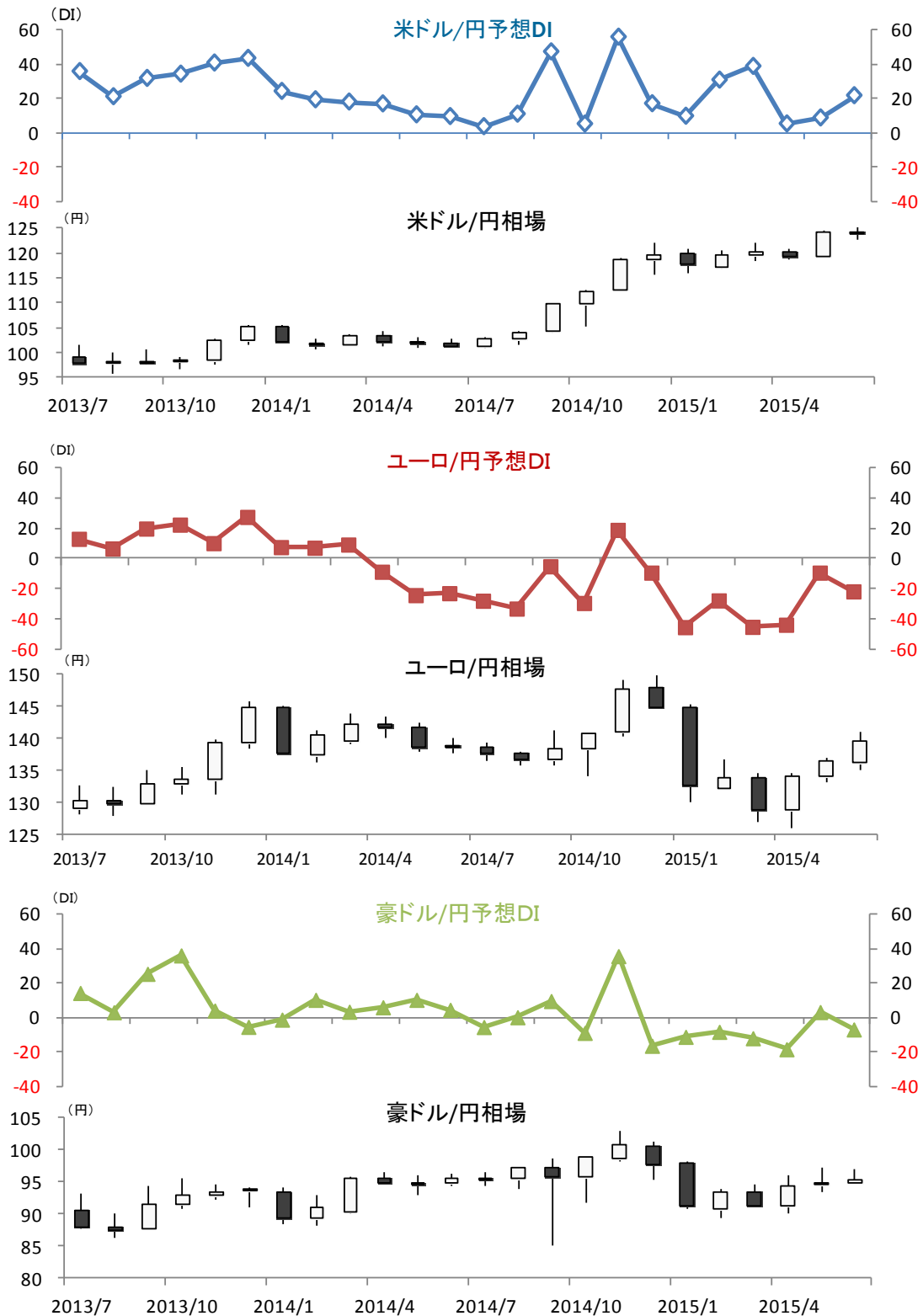
今回の特別質問項目として、「2015年を通して、ドル/円“最高値”の予想レートをお答えください」と尋ねたところ、「130円」と答えた割合が24.5%と最も多かった。続いて「126円」が17.8%、「128円」が14.7%、「127円」が10.0%となった。「130円」と答えた投資家のコメントを見ると、上昇に関しては米国の利上げや日本の追加緩和の可能性を挙げ、「節目までは上がるのでは」と指摘する声が多かった。ただし同時に、「日米双方の牽制が入るため、これ以上の円安・ドル高は進まないだろう」との見方も目立った。130円未満の水準を選択したFX投資家のコメントについても「日米双方による牽制」を理由に挙げる向きが多かった。なお、130円よりも上の水準を選択したFX投資家のコメントを見ると、米国の景気回復および利上げに対する期待が非常に高かった。また、テクニカル的な面から130円を通過点とする声もあった。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表:主要3通貨ペア予想DIと月足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承いたします。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

## 【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第73回目となりました。調査開始から6年が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めて行きたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年年初以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

## 【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

		米ドル／円			ユーロ／円			豪ドル／円		
		米ドル高	米ドル安	DI	ユーロ高	ユーロ安	DI	豪ドル高	豪ドル安	DI
2013年	7月	52.3	16.6	35.7	37.3	24.3	13.0	38.4	24.2	14.2
	8月	43.7	22.7	21.0	34.1	27.5	6.6	34.8	31.8	3.0
	9月	49.8	18.1	31.7	40.8	21.0	19.8	46.5	21.2	25.3
	10月	54.8	20.6	34.2	40.8	18.4	22.4	53.1	17.1	36.0
	11月	53.2	12.5	40.7	34.8	24.7	10.1	31.8	27.8	4.0
	12月	59.5	16.1	43.4	48.2	20.7	27.5	27.3	32.8	-5.5
2014年	1月	47.2	23.1	24.1	37.2	29.7	7.5	28.1	29.4	-1.3
	2月	41.7	22.5	19.2	35.3	28.2	7.1	36.5	26.3	10.2
	3月	41.9	24.0	17.9	38.7	29.5	9.2	34.8	31.5	3.3
	4月	41.4	24.6	16.8	25.7	34.5	-8.8	35.4	29.5	5.9
	5月	33.9	23.5	10.4	19.7	44.0	-24.3	34.2	24.0	10.2
	6月	31.1	21.7	9.4	20.1	43.1	-23.0	30.4	26.0	4.4
	7月	27.9	24.4	3.5	17.8	45.8	-28.0	26.7	32.3	-5.6
	8月	32.6	21.8	10.8	14.7	47.9	-33.2	27.8	27.7	0.1
	9月	64.8	17.6	47.2	28.0	33.2	-5.2	36.0	26.5	9.5
	10月	39.4	34.4	5.0	18.3	47.8	-29.5	27.1	36.1	-9.0
	11月	70.0	14.2	55.8	43.0	24.1	18.9	54.0	18.4	35.6
	12月	48.9	32.0	16.9	28.8	38.2	-9.4	26.9	43.4	-16.5
2015年	1月	39.3	29.7	9.6	15.1	60.6	-45.5	26.2	37.5	-11.3
	2月	46.8	16.1	30.7	19.7	47.5	-27.8	26.4	34.8	-8.4
	3月	52.3	13.6	38.7	15.2	60.5	-45.3	21.8	33.9	-12.1
	4月	31.4	26.3	5.1	15.1	59.0	-43.9	23.4	41.9	-18.5
	5月	29.1	20.5	8.6	31.0	40.4	-9.4	32.2	29.1	3.1
	6月	43.5	21.9	21.6	25.4	47.2	-21.8	24.3	31.3	-7.0

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様が生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com